EVENT 1

「山口ゆめ花博」内で行われた「やまぐち産業維新展」に本協会が出展しました！

平成30年
9月17日、18日
山口きらら博記念公園
多目的ドーム

ミニ重機の操作は難しいかな？

平成30年9月17日（月・祝）・18日（火）の2日間、山口きらら博記念公園多目的ドームにおいて、「やまぐち産業維新展」が開催され、本協会も出展しました。

このイベントは県内企業の製品・技術等の魅力や情報を幅広く発信し、理解を深めてもらうことを目的に開催されたもので、約170社が集合し展示や体験等でPRを行いました。

本協会出展の「建設業魅力発信ブース」では、コマツカスタマーサポート（株）山口支店の協力のもと、本物のバックホウに乗っての記念撮影やパネル展示を行いました。また、初日の17日は祝日であったことから、子供向けイベント「けんせつきかい体験しよう！」を開催！体験しよう！」をキャッチコピーとして、下関支部持参のミニ重機に乗って、アーム操作でボール等をすくい上げるゲームと、岩国支部持参の重機ラジコンを使ったお菓子すくいゲームを実施しました。

今回の出展に当たっては、毎年、地域イベントやお祭り等に参加経験のある岩国・長門・下関支部の3支部から2名ずつの計6名と、協会本部職員5名、山口県土木建築部監理課3名、コマツカスタマーサポート（株）山口支店5名がスタッフとして参加、2日間で延べ23名体制で実施しました。

2日目の18日は平日でしたが、高校生1、600人の招待日であったため、高校生・一般向けの展示に模様替えを行い、DVD上映を行いました。

会場の山口きらら博記念公園は「山口ゆめ花博」が開幕したばかりということもあり、たくさんの来場者で賑わい、本協会ブースもすぐに行列ができる盛況ぶり。ブースの来場者数は2日間で延べ1、100人になりました。

体験した子どもたちからは「ミニ重機を操作をするのが難しかった」「本物も動かしてみたくなった」との声や、「大きな機械に乗れて嬉しかった」といった感想が聞かれ、真剣な表情でラジコンを操作する姿や、本物の重機の上でみせる笑顔がとても印象的でした。

また、来場者には本協会作成の災害復旧やボランティアなどの社会貢献活動をPRしたチラシや山口県土木建築部作成のパンフレット、子供新聞、コマツ重機のぬり絵等の配布も行い、一般の方に建設業を知っていただく良い機会となりました。

本協会では今後とも地域社会に貢献するとともに、イベント等を通じて、たくさんの方々に建設業の役割や魅力を発信していきます。

2日目は高校生がたくさん訪れました

バックホウに試乗して記念撮影

重機ラジコンのお菓子すくいゲームは大人気。長い行列ができました。

平成30年度に行われたその他の建設業PRイベント

岩国支部／ 第61回岩国祭「けんせつきかい体験コーナー」
長門支部／ ちびなが商店街をつくろう
「『ちびなが建設』重機体験コーナー」

岩国支部

長門支部

EVENT 2

中学生ブリッジコンテスト開催！

平成30年
8月24日、25日
ゆめタウン下松
海の広場

大会DATA
主催：山口県立徳山商工高等学校（徳山商工）
共催：（一社）山口県建設業協会、（一社）中国建設弘済会
後援：山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会、周南市教育委員会、下松市教育委員会

平成30年8月24日・25日の2日間、下松市のゆめタウン下松「海の広場」において、「中学生ブリッジコンテスト」を開催しました。このイベントは、中学生に「ものづくり」の楽しさを体験してもらい、建設業や土木・建築系専攻科のある実業高校に関心をもってもらうことなどを目的に毎年実施しているものです。

今回は公募により応募された県内8校から22人の中学生が参加。初日に橋の構造を学び、試作の模型を設計した後、徳山商工生33人のサポートを受けながら、軽量のバルサ材でオリジナルの橋を製作し、2日目のコンテストに臨みました。

コンテストではまずプレゼンテーションが行われ、参加者一人ひとりが作品の特徴や名前の由来、工夫した点などをアピール。アーチ橋、トラス橋など参加者がこだわりを持って作った橋を前に堂々とした発表を行いました。

続いて、橋の軽さを競う質量コンテストが行われた後、クライマックスの強度コンテストへ。橋に1キロずつ5キロまで重りをかけて強さを競いました。軽く柔らかなバルサ材に、5キロの加重は相当なもの。重りを足すごとにミシミシと音をたてる橋に、参加者はもちろん審査員や観客の皆さんも息を呑み、重さに耐えきれず橋が壊れると、「あ～!!」っと悲鳴があがりました。

当日は土曜日ということもあり、会場のゆめタウン下松には多くの買い物客が訪れており、盛り上がるコンテストの様子を楽しそうに見つめていました。

審査の結果、見事優勝に輝いたのは下松市末武中学校1年の内山七美さん。作品の「5A橋」は、アルファベットの「A」が下部工に5つ並んだ姿が特徴で、上部下部の空間をうまく使い、力をうまく分散させた点において特に評価されました。

中学生の感性が光る「ブリッジコンテスト」。参加した中学生からは「進路選択の参考になった」「楽しかったので来年も参加したい」などの嬉しい声がありました。本協会では今後もこのイベントを通して、未来を担うものづくり人材の育成をバックアップしていきます。

ブリッジコンテスト COMMENT

とても軽い橋だったからすぐに壊れてしまうかと思ったけれど、強度があって良かったです！

優勝した
下松市
末武中 1年
内山七美さん

内山さんは丁寧に隙間なく接着していたので強度が上がり、優勝の一因になったと思います！

サポートした
徳山商工
環境システム科3年
山田峻平くん

このコンテストは作って終わりではない。強度コンテストで橋が壊れてしまうケースもあり、面白さと同時に丁寧につくることの大切さを学べる、ものづくりの現実に則した貴重な機会だと思います。

大会会長 徳山商工
岩本武久校長

今年は今までとは違ったデザインのものが多く製作され、中学生の新たな風を感じました！その分、強度や質量の問題が出てきましたが、リピーターの多いコンテストですから今後が楽しみです。

実行委員長 徳山商工
松井幸司先生